真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月13日

事務事業名	ごみ減量化推進事業	担当課・係	市民生活部　環境課　ごみ減量係
政策名　No	5　「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	1　循環型社会の構築		

成果指標

名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
１人１日当たりのごみの排出量	g	744					733
ごみ排出総量	t	20,612					
機械式生ごみ処理機	件	13					
コンポスト	件	34					
地域座談会	回	55					

事業内容

・優秀ゴミステーション表彰
・生ごみの減量化（自家処理）の推進を図るため、機械式生ごみ処理機及びコンポスト容器の設置費用を補助する
　機械式生ごみ処理機:1世帯につき1台、購入価格の1/2 限度額：30,000円
　コンポスト容器：1世帯につき2基、購入価格の1/2 限度額：6,000円
【R6実績】　機械式：14件　299,500円　　コンポスト：21件　87,000円　　地域座談会　66回　　指定ごみ袋製造　34,973千円

・地域づくり事業での「ごみ減量に関する座談会」へ参加しゴミの資源化・減量化を説明
・指定ごみ袋製造

前年度の課題（Check）

・年間に排出されるごみの量は減少傾向であるが、さらに資源化・減量化を座談会やHP等で周知していく。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
（優秀10,000円×10　優良5,000×20）報奨金　200千円
・生ごみ処理機設置補助
　機械式：13件　323,700円　　コンポスト：34件　80,100円
・地域座談会派遣　55回
・指定ごみ袋製造　36,528千円

【２】結果と課題（Check）
・年間に排出されるごみの量は減少傾向であるが、さらに資源化・減量化を座談会やHP等で周知していく。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・年間に排出されるごみの量は減少傾向であるが、さらに資源化・減量化を座談会やHP等で周知していく。

（2）長期的な計画で検討すること
一人当たりのごみの排出量前年比4ｇ以上の削減